

東堂陽一 議会便り 第13号(2-6)

平成 18年 11月 17日発行

写真でみる最近の話題

今号の内容

1. 写真でみる最近の話題
2. 9月議会
3. 市立病院一次救急停止
4. 2匹目のどじょう
5. 私の一般質問(9月)



掛川子ども園開園 (9月5日)



学校教育特別委員会視察 (西郷小他、10月16日)



横須賀ちっちゃな文化展 (10月21日)



垂木川の改修を進める会視察 (10月27日)



桜木地区体育大会 (10月29日)



1 ふれあい里の市 (家代の里、11月4日)

9月定例会が開催されました。

9月4日から9月29日にわたって開催された定例会議の概要をお知らせします。

(平成18年度補正予算案審議)

一般会計補正予算案を始めとして、6件の補正予算議案の審議を行いました。一般会計の補正の主な内容は下の様です。

(条例案などの審議)

条例案6件その他4件、計10件を審議しました。この内の議案第111号は住民票の手続きなどをインターネットで行なえるようにするための改正です。ちなみに、議案第111号は「掛川市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について」という長い名前です。しかもこれでは何の条例なのか良く分らないですね。

(意見書4件、陳情書6件を審査)

意見書4件はすべて可決、陳情書は4件を採択しました。障害者自立支援法の施行に伴い、問題点が現実のものとなってきたこと、飲酒運転根絶に関する決議が特徴的です。

(一般会計補正予算)

(1) (仮称)大須賀市民交流センター基本・実施設計委託料増	1,500万円
(2) 市町村自主運行バス事業費補助金追加	5,973万円
(3) 旧つくし保育園改修工事費追加	1,800万円
(4) 生活道路新設改良事業費増	3,100万円
(5) 宮脇第一土地区画整理事業費増	17,100万円
(6) 旧桜木幼稚園改修工事費追加	2,000万円
(7) (仮称)長谷幼保園建設事業補助金追加	3,500万円

(意見書)

- 議発第9号「障害児福祉サービス等利用者負担軽減に関する意見書」
- 議発第10号「医師・看護師等の確保に関する意見書」
- 議発第11号「乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書」
- 議発第12号「飲酒運転根絶に関する決議」について



(17年度会計決算の審査、 各種補助金について)

一般会計および15の特別会計の決算審査を行いました。その中で問題であったのは各種補助金について、新しく予算付けしたり、増額したのに不用額が出ているものが多数あった。これらの結果の検証が必要だということ。各種団体への補助金も明確な支援基準がないことも明らかに。

補助金はどうあるべきかの議論と検証の必要があります。



市立病院が一次救急を停止



2. 何が原因か

一つは医師不足です。全国の自治体病院に共通の課題ですが、掛川市立病院も深刻です。良い解決策はなかなか見つからないのが現状です。もう一つは救急患者が非常に多いということです。中には救急とは言えない人もいます。例えば、昼間病院等に行く暇がないので時間のある夜に受診する人もいます。また、昔なら我慢した程度の症状でも救急に行く人が増えたということだそうです。

しかし、患者側では救急に行くべきかどうかの判断は難しいし、患者側から見れば安心につながるから、一概に否定はできない。

我々市民もどう対処すべきか勉強する必要があります。行政もこの点を追求すれば問題は大きく改善されると思う。

2匹目のどじょうはいるのか

大河ドラマ「千代と一豊館」が来年も装いを変えて存続する方針です。市長の提案に対し、市議会でも賛否両論が続出するなか、異例の挙手により、賛成多数で了承しました。

私はこの計画に対し、反対に手を挙げました。その理由は、

1. 背景

10月1日から平日夜間などの一部時間帯で一時救急が停止になりました。背景には医師不足とそれに伴う常勤医の荷重負担がある。また、本来救急とは言い難い患者が8割もあると言うことです。

このままでは、救急体制あるいは市立病院の正常な運営を維持できないということで、議会も当面の間の一時救急の停止を認めました。



3. 一般質問で取り上げました

市民の安心・安全に関わる重要事項であり、上記観点に立ち、一般質問としてとりあげました。

① 「千代と一豊館」は観光行政あるいは街中活性化策としては一過性のものであり、もう一年延長して客足をつなぎ、その間にしっかりした施策を考えたいというこであったが、問題の先送りでしかない。

② たとえ15万人来場しても4,000万円程度の負担が発生する。お金を掛けるなら、この費用を観光行政、街中活性化策に充

当し策を講じるべきである。

③ 来年のNHK大河ドラマ「風林火山」もテーマに加えるということだが、掛川は舞台にはならず、15万人も集客できるか？

(今年は30万人超。通常の掛川城来場者は7,8万人程度)

④ 「千代と一豊館」も街中活性化にはあまり寄与していないという声もある。

今回の私の一般質問の通告要旨です

(質問のねらい)

1番の質問では医師不足問題と救急現場の混乱の現状と分析、解決に向けての方策の議論をしようと思いました。

2番目は、新教育長の就任に合わせての質問です。また、今の学校教育にかけているものは何かという観点から2,3の質問も致しました。3番目は将来的に更なる合併が必要との認識からの質問です。



1. 掛川市の救急医療の見直しについて

10月1日から平日夜間などの一部時間帯で一次救急を停止する。背景には医師不足とそれに伴う常勤医の過重負担がある。また、本来救急とは言い難い患者が8割もあると言うが

- (1) 「医師確保対策会議」の議論はどうなっているか
- (2) 救急患者数、年齢、症状等の実績はどうか。また、協力をお願いする小笠医師会の3名の在宅輪番医で対応しきれるか
- (3) 明らかに救急ではないと本人が分っている場合もあるのか
- (4) 患者側では救急に行くべきかどうか判断が難しい。市民の側にも知識が必要だが、どのような対策が考えられるか
- (5) 市立病院併設型ができればと思うが、救急センターの整備を検討する考えはあるか

2. 学校教育について

- (1) 新教育長の所信と抱負を伺う。とりわけ、取り組んでいきたいこと、課題として捉えていることは何か伺う
- (2) 叱るということ、あるいは、体罰についての考えを伺う
- (3) 競争についてはどう考えるか伺う

3. 再合併について

平成17年の6月議会において、旧小笠2市と掛川市掛川市のさらなる合併を目指したいという表明があったが、現在の考えはどうか。また、どのような行動をしているのか